

材料系 材料コース (博士後期課程)

アドミッション・ポリシー (求める人材像と求める力)

材料系では、特に次のような学生を求めます。

- ・材料科学および材料工学に関連する高度な専門知識と課題解決能力によって、広く社会に貢献する意欲がある人
- ・材料科学および材料工学についての学識を深め、未知の領域を開拓するとともにそれらを体系化する強い意志と実行力を有する人

アドミッション・ポリシー (入学者選抜方針)

学位論文 (またはこれに代わる研究業績) による研究能力に関わる試問, 材料系の専門に関する学力, 英語による語学力などについて, 口頭試問などにより, 材料系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

カリキュラム・ポリシー (教育内容)

本コースでは、「ディグリー・ポリシー (修得する力)」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 材料工学分野の最高度の専門学修とその応用

修士課程で学んだ専門知識をさらに深化させるとともに、それらを駆使して独創的かつ挑戦的な研究・開発を推進する素養を身につける学修

B) 材料工学分野における技術の俯瞰力並びに課題設定力の学修

国内外の専門家との議論や論文・総説の執筆等を通じ、社会の潮流を俯瞰して現状の問題点を発見するとともに、これらを独自の発想をもって解決できる総合力の学修

C) 材料工学分野における研究のリーダーシップの涵養並びに知見の体系化の学修

論文作成や総説執筆等を通してさまざまな実験や研究を通じて得られた知見を体系化するとともに、設定した課題を先導的に解決するリーダーシップ力を涵養する学修

材料系 材料コース（博士後期課程）

ディグリー・ポリシー（修得する力）

材料コースでは、次のような力を修得することができる。

- 材料学に関する最高度の専門的学力によって独創的な学術研究と技術開発を推進する能力
- 材料学に関する最高度の専門知識を自在に活用して革新的な材料を開発する創造力
- 国際社会の潮流を俯瞰して現状の問題の本質を見抜き、解決すべき課題を具体的に設定する能力
- 科学技術の発展のために国際的な研究グループを先導する指導力